

「出題の意図」

<p>選抜区分</p>	<p>2020（令和2）年度（選抜区分：推薦選抜） 国際環境工学部 情報システム工学科（科目名：総合問題・面接）</p>
<p>出題の意図 （評価のポイント）</p>	<p>【総合問題】</p> <p>第1問（数学） <出題の意図・ねらい> 高校数学の学習事項を全般的に確認する基礎的な問題を出題した。</p> <p>問1 最大公約数・最小公倍数に関する基礎的な知識を確認する問題とした。</p> <p>問2 確率に関する基本的な知識を確認する問題とした。</p> <p>問3 循環小数について基本的な知識を確認する問題とした。</p> <p>問4 整数に関する基本的な知識を確認する問題とした。</p> <p>問5 三角関数に関する基本的な知識を確認する問題とした</p> <p><答案の特徴と傾向> 全体的に正答率が低く、全問正解者は一部であった。</p> <p>第2問（数学） <出題の意図・ねらい> 微分・積分に関する基礎的な力・応用する力を問う設問とした。具体的には、三次関数を題材に、微分を用い、接線を求める問題とした。また、曲線・直線によって定められる図形の面積を定積分によって求める応用力を確認する問題とした。</p> <p><答案の特徴と傾向> 問1については概ねの受験者が正答であった。問2、3については正答率が低かった。</p> <p>第3問（物理） 物理について、出題の意図は公表しておりません。</p>

【面接】

面接では、志望動機、修学意欲、将来の進路などを問うとともに、数学の基礎学力確認のための口頭試問を行った。

受験生が修学について明確な目標を持っているか、学科の教育内容を理解しているか、将来をどの程度展望できているかなどを問うた。

また、受験生が入学後の学習に必要とされる数学の基礎知識や論理的な思考力を有しているかなどを確認した。